

本町の風

児童数 81 名、職員 22 名

平成 27 年 7 月 9 日（木）第 4 号

「ふるさと本町を誇りに思う 心すこやかで体のびやかな児童の育成」

1 新しい仲間加わる！ ～野菜がたくさん欲しいです～

6 月に入り、2 年生脇山幸志さん宅と新和小学校からウサギをいただきました。これまでの本校のウサギ小屋は、金網が破れ老朽化していましたが、岡部日葵さんのお父さん（誠喜）さんのご協力ですっかり補修ができ、ウサギたちも元気に新しい小屋で過ごすことができます。また、松坂映希さん宅をはじめ、4 年生のご家庭からニンジンやキャベツ、カボチャなどたくさんの野菜をいただき、みな喜んでいきます。一日に自分の体重の 6 倍も食べるという新しい仲間達の加入で、児童が毎日ウサギ小屋の回りに集まっては「かわいい」とうれしそうな笑顔を見せています。元気に成長できるよう一生懸命にお世話していきたいと思っています。ご協力いただきました皆様にこの場をお借りしまして御礼申し上げます。また、ご家庭にあります「キャベツ、ニンジン等の野菜類」がございましたら、是非ご提供お願いします。なお、近くに来られたときは、是非見に来てください。きっと癒やされますから！！



2 学校行事から

7 月 6 日（月）から 7 月 10 日（金）までの一週間は、「命を大切にする心をはぐくむ週間」（前後の土、日を含む）でした。本校でも、その一環として 7 月 3 日（金）の「学校へいたてみゅうかいⅠ（授業参観）」の日に、すべての学級で「命を大切にする心をはぐくむ授業」の公開をしました。また、当日は学校運営協議会の方々をはじめ、日頃からご協力いただいている支援員さん方にも授業を参観していただき「子どもたちの歌声がほんとにきれいでした。」とか「子どもたちが落ち着いていました。」「昨年度より成長していますね。」とたくさんのお褒めの言葉をいただきました。また、当日は給食試食会をはじめ、瑞穂栄養教諭による講話、CS 活動報告、学級懇談と多くの活動がありました。ご出席いただきました皆さん、本当にありがとうございました。

(1) うたごえ集会（各学級で） (2) 給食試食会



元気に歌う 5 年生



親子での会食、1 年生

(3) 瑞穂栄養教諭講話



話をされる瑞穂先生

栄養教諭の瑞穂先生からは、食事の大切さについて、VTR や資料を使って分かりやすく説明していただきました。是非、ご家庭でも子どもの心と体の健やかな成長に欠かせない食育の大切さについて、話題にしていきたいと思いました。

(3) 授業参観：「命を大切にする心をはぐくむ授業」(7/3)



1年生



4年生



6年生

3 1学期のCS活動から

(1) 田植え (6/12) 尚充さん、そして5年生、保護者の皆様ありがとうございました



1年生も頑張りました！



余裕で植える3年生



上級生と一緒に補植

(2) 麻美さんの朗読 (6/30) (3) 土人形づくり (5, 6年生) (7/1)



一つの花の朗読を聞く4年生



保存会の皆様のご指導で



見事に完成した土人形

(4) 廃油石けんづくり (7/2)



山下チヅ子さんのご指導で

いよいよ、夏休みになります。水難事故、交通事故等が多く発生するのが、夏休みはじめと終わりの各1週間と言われています。十分、注意して過ごして欲しいものです。地域の皆様の子どもたちへの、声かけ、見守りもよろしくお願いいたします。

7月～8月の主な行事

- 7月22日(水)：支部水泳記録会
- 7月24日(金)：県学校給食研究協議会
(本町小発表)
- 7月25日(土)、26日(日)
：熊日学童ミニバスケットボール大会
- 7月29日(水)：校内研修
- 7月30日(木)～8月2日(日)：矢並交流
- 8月3日(月)：現地学習会
- 8月8日(土)：小体連サッカー実技研修
- 8月9日(日)：郡ミニバスケット3,4年校舎
県PTA等指導者研修会
- 8月19日(水)：天草都市人権教育研究大会
- 8月23日(日)：PTA奉仕作業
- 8月31日(月)：始業式
- 9月3日(木)：委員会活動
- 9月4日(金)：地区児童会

第 6 5 回 「社会を明るくする運動作文 優秀賞作品」

天草管内の応募総数 7 4 5 点の中から、最優秀賞 1 点、優秀賞 2 点が選出され、7 月 1 日に開催される第 6 5 回社会を明るくする運動推進大会・天草市教育力活性化推進大会で表彰式があります。その中に本町小学校 2 年「くら田まひろ」さんの「こえをかけよう」が優秀賞の 1 点として選ばれました。とてもすばらしい作品ですので、皆さんにもご紹介したいと思います。ご一読ください。

「こえをかけよう」

本町小学校 二年 くら田まひろ

わたしは、しぜんがいっぱいの本町にすんでいます。この本町には、花や虫や魚、そしてみどりがいっぱいあって、とてもきれいなところです。水もきれいでホタルもたくさんとんでいます。空気もおいしい町です。そして、やさしい人がたくさんで、たすけあったり、大人の人子どもたちといっぱいあそんだり、おせわをしたりしてくれます。

わたしが、いままでで一番心にのこっているのは、一年生のときのできごとです。お休みの日にわたしはいえのちかくを一人でおさんぽをしていました。すると、なにかにつまづいてころんでしまいました。ひざをけがしてたくて、一人だったのでさみしくてかなしくてないてしまいました。みちばたにすわっていると、きんじょの人が出てきて、

「大じょうぶ。」

と、こえをかけてくれました。それから、おうちにかえってばんそうこうをとってきて、はってくれました。そして、いえまでおくってくれました。わたしは、今二年生ですが、このときのことははっきりおぼえています。

さいきん、ニュースでいやなじけんが多いなと思います。どうしたらそんなじけんがおこらないかかんがえました。わたしは、一人一人がやさしいところをもてばいいとおもいます。やさしいところをもてば、はんざいはなくなるとおもいます。そして、わたしがすんでいる本町のように、みんなでこえをかけあったり、たすけあったり、大人が子どものめんどろをみたりなどする町になればなくなるんじゃないかなとおもいます。本町のちいさな人は、子どもたちがいつもあんぜんに学校にかよえるようにみまもりたいとしてみまもってくれます。学校のぎょうじやべんきょうもてつだってくれます。わたしも、こまっている人がいたらおてつだいをしたり、たすけたりできる人になりたいです。同じクラスのともしや学校のともだちにも、こまっている子がいたらすすんでこえをかけたいとおもいます。



*イラストは、本文とは関係ありません。